

# 平成29年度第1回前橋市総合教育会議会議録

日 時 平成29年7月18日(火) 午後3時00分から午後4時29分まで

場 所 市役所3階31会議室

(市長)

山 本 龍

(教育委員)

|       |         |          |         |
|-------|---------|----------|---------|
| 教 育 長 | 塩 崎 政 江 | 教育長職務代理者 | 村 山 昌 暢 |
| 委 員   | 吉 川 真由美 | 委 員      | 湯 澤 晃   |
| 委 員   | 奈 良 知 彦 |          |         |

(事務局)

|           |         |        |         |
|-----------|---------|--------|---------|
| 教 育 次 長   | 橋 本 誠 次 | 指導担当次長 | 林 恭 祐   |
| 総 務 課 長   | 小 島 順 子 | 教育施設課長 | 大 舘 勉   |
| 文化財保護課長   | 田 中 隆 夫 | 学校教育課長 | 川 上 辰 幸 |
| 生涯学習課長    | 小 崎 昭 一 | 青少年課長  | 時 澤 秀 明 |
| 総合教育プラザ館長 | 高 木 威   | 図書館長   | 栗 木 佳 香 |
| 前橋高等学校事務長 | 中 澤 修 司 |        |         |
| 政 策 部 長   | 藤 井 由 行 | 政策推進課長 | 膽 熊 桂 二 |

教育次長　　これより平成29年度第1回前橋市総合教育会議を開会いたします。本日の進行は事務局で務めさせていただきます。それでは最初に山本市長からごあいさつをお願いいたします。

市長　　法改正に伴い首長がこの会議を主催することとなっております。私は教育委員会の独立性、自主性を担保しながら行政を進めていく立場であります。

今回は次期教育振興基本計画の方向性、公民館のあり方、平成29年度の重点施策について議論を深めていただくこととなります。

昨年度来、タブレットを使った教育、里山学校、地域寺子屋など様々な取り組みを行っていただいております、大変ありがたく思っております。「教育のまち」として大きな活力を感じているところであります。今日の議論を楽しみにさせていただきます。

また、たくさんの市議会議員の方にも傍聴をいただいております。ご指摘があれば、何か意思表示をいただければありがたいと思っております。

教育長　　4月から新しい教育委員会制度がスタートしました。市長と一緒に議論をし、色々なご意見をいただきながら進めているところでございます。加えまして、教育委員の皆様には、様々な課題について熱心にご議論をいただき大変ありがたいと思っております。

昨年から引き続いての課題も多くあるため、元教育長であります佐藤児童文化センター館長にもこの会議に出席していただいております。

教育次長　　ありがとうございました。それでは、協議事項に入らせていただきます。

### 議題1 教育振興基本計画改訂に係る考え方について

教育次長　　現在、市においては「第七次総合計画」の策定作業が進んでおりますが、同時に教育振興基本計画についても、平成30年度からの実施に向け改訂作業を進めております。

ここでは、教育振興基本計画の改訂に係る考え方について説明させていただきます、その後、意見交換をさせていただきたいと考えております。

それでは、概要につきまして、指導担当次長からご説明させていただきます。

指導担当次長　　現在、教育振興基本計画の改訂を行っているところですが、今後の学校、子どもたちの教育をどういった考えで進めていくかという大きなテーマをお話させていただければと思っております。

まず、学校教育と社会教育の部分においてどういったことが求められ

ているのかということについてです。

学校教育については、いわゆるAIの進展、グローバル化、少子高齢化が進む中で、学習指導要領では、色々な人と協力しながら、たくましく未来を切り開いていける子どもたちを育てる必要があるとされております。そして、そのためには社会に開かれた教育課程が大切であると言われております。これは、学校だけではなく、地域の方々と一緒になって学校教育を充実させていくという考え方に立つこととなります。

一方、社会教育では、地域の方々がこれからの社会をどういうふうにしていくのかという当事者意識を持って、子どもたちを育てていく、次世代の人材を育てていくことが大切になってきております。

こういったことから、「個の育ち」と「社会の中での活躍」の二つをポイントとして、目指す人間像として「多様な人と協働しながら主体的・創造的に社会を創る人」と教育委員会では考えました。

前橋市においては、現在第七次総合計画を策定中ですが、その行動指針「認め合い、支えあう」、「つながり、創造する」、「未来への責任をもつ」という三つの指針を教育委員会に置きかえて考えまして、四つのステージ、「個を伸ばす」、「認め合う」、「創りだす」、「未来へ」という形に整理をさせていただきました。

ご不明な点やご意見があれば、よろしく申し上げます。

教育次長           ここから意見交換とさせていただきます。

教育長            教育委員会としては、「認め合う」前に一人一人を育てようという意味から「個を伸ばす」というステージを追加したのが、一番大きいところだと思います。そのあたりで何かありましたらお願いします。

吉川委員        まず、「めぶく」というステージはとても大事な考え方であると思います。もしかしたら現場の先生方にとっては、逆に分けることは難しいかもしれません。

前橋市が考えている方向と教育委員会が考えている方向がしっかり一致していることが大切だと思います。

教育長            これまでの教育振興基本計画は、課ごとの柱だったのですが、その前段として取り組んでいく方向性を示さないと取り組みにくいのではないかと考えました。

奈良委員        一人一人、自己有用感があるということが大切であると思います。

この計画を推進するには、市長部局とさらなるコミュニケーションが必要になると思いますが、子どもたちのために頑張っていただければと思います。

教 育 長 一人一人を育てて、仲間を認め合って、その次に何かもっと良いことをしようとなって、そして次に繋げていこうとなるのだと思います。そこで、こういうことも大切なのではと思い、もう一回学び直すということになるのだと思います。スパイラルになっていると思います。

奈 良 委 員 自分に自信があると、周りに優しくなれる、相手の立場が分かるのだと思います。反対に自信がないと、不満も多くなり要求も多くなるのだと思います。ですから、しっかり個を育ててもらって、そしてわがままで終わるのではなく、認め合って周囲のサポートが出来るようになる子どもが育つと良いと思っています。

村 山 委 員 個を育てるということが一番大事だと思います。次の認め合うというのは、私の個とあなたの個が違っていると分かって初めて認め合うことが出来るのだと思います。まず、個を育てるには、きちんと目の前の個を見ることが大切だと思います。したがって、きちんと見るためには、そのための時間が必要であり、教員の多忙さの解消に繋がってくるものだと思います。

自分が中学生のときに、今の世の中のありようは予想できなかったです。予想できた人は誰もいなかったと思います。そういった中で、どういう人を育てていくのが良いのかは分からないですが、分からないながらも、自分を見て他人を見るということは大切なのだと思います。

湯 澤 委 員 基本計画ですので、教育長のおっしゃるとおり下から積み上げるのではなく、上から指針を示すというのが本来だと思います。市民から見てもこれを見ることで教育に関することを考えるときに使えると思います。自己肯定感を持てる、自分が成長していると感じることができる、私自身は個を伸ばすということが一番重要だと思います。

教 育 長 そうですね。市長さんはいかがでしょう。

市 長 第七次総合計画の現段階の案を教育委員会に示し、それに対して教育委員会が考えて進めていくものだと思います。その上で、教育委員会が思い描く教育を受けて、将来像に向かって進んでいくということですから、良いと思います。

教 育 長 この考え方を元にこれから次期教育振興基本計画を策定していきたいと思っています。今はまだ頭出しの部分ですが、次回の総合教育会議ではもう少し具体案が出せると思います。

以上で議題の1を終了とさせていただきます。

## 議題2 これからの公民館の役割について

教育次長

それでは議題2、これからの公民館の役割についてです。

先日、教育委員さん方には総社公民館を視察していただき、取組について既に説明をさせていただきましたが、これから求められる公民館の役割についてご意見をいただき、現在の課題を含めてご協議いただきたいと思います。それでは指導担当次長より説明いたします。

指導担当次長

社会教育において大事なことは、これからの地域にそれぞれの立場の人たちが自分事として色々な課題を自分たちで解決することがポイントとなります。それをコーディネートする役割を公民館が担うということが非常に重要だと考えます。理念と専門性を持ってコーディネートしていく力、地域専門員や生涯学習奨励員などの専門性を効果的に生かしながら、それぞれを連携させてより良い地域社会を作っていくということです。

本日は、総社公民館が作成したコミュニティデザインを配付させていただきました。各公民館では、こういったコミュニティデザインを作成しております。

その他、学校教育や各種団体との繋がりが大切ですが、どうやってそれらを連携させていくのかということも考えていく必要があります。

また、公民館で社会教育を推進していく上で、公民館職員が市長部局の職員であるといった組織上の課題もあり、うまくいっていない部分もあります。

これら検討すべき部分については、教育委員会だけでなく、幅広い分野の方々からご意見をいただきながら進めたいと考えております。

教育次長

それでは、ここから意見交換をお願いします。

教育長

公民館についてはこれまで話題にすることが少なかったのですが、市長がよくおっしゃる「市民力を生かそう」とか「民の力を生かそう」というのは、その力を伸ばすことが必要だと思います。公民館を学びの場だけではなく、それを生かす場所とすることも必要だと思います。

視察にも行っていただきましたが、まず教育委員さんから一言お願いします。

吉川委員

先ほど「個を伸ばす」という話がありましたが、個を伸ばすだけでなく、個の中に蓄積された知識や経験をいかに社会に還元していくかということがとても大切だと思います。公民館というハードは新しくなってきましたが、職員のコーディネート力を高めることが課題だと思います。

なかなか個人では何をしたら良いのか分からないので、公民館にサポ

ートしていただければと思います。

教 育 長 教育振興基本計画の「個を伸ばす」と関わりますが、個を伸ばすというところから、次に繋げていくには拠点となる場所が必要だというイメージです。

村 山 委 員 地域の中で、「私はこんなことを知っています。」、「こんなことができます。」というのは、わざわざ口には出さないものです。そんなことないですよというお節介役として、公民館職員が上手にコーディネートして、地域に還元してもらって役割を担ってくれると良いと思います。

教 育 長 公民館の存在によって市民の力を生かすことができるということですね。そういう努力を今やっているところだと思いますが、それに対する期待感などありますか。

市 長 市民にとって一番身近な帰属先であるコミュニティが地域で、その中核となる公民館機能が充実することで社会への帰属意識が高まっていくということだと思います。公民館がどこまで役割を担うのかというのは把握できていませんが、公民館が核となって機能していただくことは、大変ありがたいことだと思っています。

教 育 長 コーディネートできる専門性が公民館職員にないと難しいですよ。公民館職員の資質・能力を向上させなければ未来に繋がっていかないと。人材確保と併せて育成をして、公民館機能を高めなければならないという課題があると思います。

奈 良 委 員 学びとは、学問だけでないと思います。また、高齢になってくると多少時間が使えるようになりますが、段々と社会と離れていく。その中で仲間と集まり、何かを学ぶということは、生きがいにも繋がります。

先日、私の住んでいる地区の公民館から館報をいただいたのですが、古文書を読み解こうというもので、大学から先生を招いて講座を開くものでした。どこの公民館でもこうした事業を行っているのだろうと思いますが、こうした事業を行える職員が増えていけば良いなと思いました。

教 育 長 定年後も社会と繋がるような仕掛けを公民館が核となって進めて、人と人を繋ぐ。ただ事業を行っていくのではなく、事業を通して交流の場を作ることが次の担い手を育てていくことに繋がると思います。

湯 澤 委 員 私は館報というのは記憶にないのですが、イベントの企画だけではな

く、宣伝力が大事だと思います。また、私のような現役世代からすれば公民館からは縁遠くなってしまいがちですので、各世代で公民館を利用できるようにしていただけたら良いと思います。

教 育 長

コミュニティデザインを作っていく中で、地域の人たちに色々と話を聞いて、それぞれの地域の課題なども見えてきましたので、公民館という建物の中だけではなく、もっと地域全体の社会教育を作っていくというのが公民館の役割だろうと思います。先ほど専門性を高める研修の話も出ましたが、コミュニティデザインのように地域の特性を踏まえて今後どうやって進めていくのかというのを各公民館でやってもらっているところです。

吉 川 委 員

先ほど湯澤委員さんのお話にありましたが、忙しい世代だと公民館へは行かないだろうと思いますし、公民館と聞いても各地区の公民館を思い浮かべる方もいると思います。

私は仕事柄、企業さんとお付き合いをされていて、何をしている会社ですかと尋ねると、製造業の方はこれを作っていますとはっきりと答えていただけるのですが、サービス業の方は説明が難しいようです。つまり自分のところでどのようなサービスをしているのかというのを見える化する必要があるのです。公民館の役割も見える化しないと明確に伝わっていかないだろうと思います。公民館では何ができて、自分がどんなふうに変わっていけるのかをしっかりとPRしないと公民館に対する興味もわかないと思います。

教 育 長

社会教育が衰退し、生涯学習だけやっていれば良いという時代がありました。公民館になかなか行かないという話もありましたが、例えば市民サービスセンターであれば住民票を取りに行ったりしますよね。たまたま住民票を取りに来た人たちと公民館事業を繋げていったら良いのかもしれません。市民サービスセンターは窓口業務が多くなっていて、公民館事業が余り進められないという組織上の話もありますよね。

市 長

私が先ほどお話ししたのは、教育委員会としての公民館ではなく、総合的な地域機関としての在り方としてお答えをしたつもりです。

私は教育委員会が考えている図柄というのが、教育委員会の持っている生涯学習機能プラス自治会や子育て連、ボランティアサークル等を取り巻くような形になっていることに対して、行政側の立場から大変ありがたく感じているところです。地域全体のコミュニティのための職員となっていけるような体制づくりが必要だと思います。

教 育 長

公民館があるところは公民館を推進すれば良いと思いますが、公民館

のないコミセンの地区はどうするのか。まだ仮称ではありますが桃井小の中にできる第一コミュニティセンターがどのような機能を持ったら良いのかということは、今後のコミセンの在り方に影響すると思います。そのことに対する期待などあればお聞かせください。

村山委員 私自身、小中学校時代に公民館の職員とどう関わっていたのかという記憶はありません。交流があったのかもしれませんが、児童生徒から見てもはっきりと分かるように交流があると先々公民館に対する親近感が大分違うと思います。小学校の中にコミセンを作るわけですが、組織上は違って物理的には同じ建物の中にありますので、児童や保護者と交流してはいかがでしょうか。何か計画などありますか。

指導担当次長 私がいた中学校では、例えば公民館が中学生ボランティアを募るに当たって、公民館職員が2回くらい学校に説明に来ていました。地域の運動会のときも同じように募集があって、こんなことをしてくださいと説明に来ていました。

村山委員 その生徒さんが大きくなったときに子どもに話しができますよね。

教育長 第一コミセンは学校の中にあるため、学校教育と繋がりやすくなると思います。ですから、運営を団体に預けるのではなく、直営の形でやっていたいかなければ学校のことも地域のことも分からないと考えています。  
第一コミセンが桃井小の中にできるということで市としても大事なことだと思います。

市長 まさにプロトタイプですし、学校教育と行政とが有機的に繋がっていくという新しい形になる期待感があります。今、教育長から直営でというご要望もありましたので、副市長とも研究しながらやっていきたいと思います。

教育長 ありがとうございます。今日は公民館の役割ということで色々な意見をいただきましたが、やはり課題はたくさんありますが、求めている方向性はこれで良いですね。専門性もそうですが、人と人を繋ぎ、また行政も繋いでいながらやっていきたいですし、公民館の無い地区についても同様に充実させたいと思います。  
市長にも応援をしていただけるということですので、社会教育の推進をしっかりと進めていきたいと思っています。

### 議題3 平成29年度重点事業の実施状況について

教育次長 では、議題の3、平成29年度重点事業の実施状況について、主な事



業について指導担当次長からご説明いたします。

指導担当次長

重点施策として八つありますが、この中で主な三つについてご説明いたします。

まず、地域寺子屋事業ですが、これは昨年度から7会場でスタートし、現在10会場で実施しています。この事業のそもそもの目的ですが、社会性や人間性の向上、あるいは地域の方との交流や地域での居場所づくり、それから学力の向上、それから貧困対策など、この事業は色々な意味を持っていますので、これからも充実させていきたいと思えます。課題ですが、指導者は退職された先生にお願いしていますが、今後会場が拡大していくと指導者の確保が難しくなっていくと思っています。また、地域の方々にもボランティア、サポーターと呼ばせていただいています。人材の確保が課題になるだろうと思っています。

続いて、赤城山ろく里山学校ですが、こちら4会場でスタートしましたが、今年度は総社公民館、南橘公民館、芳賀公民館の3会場拡大し、全7会場で実施しております。この事業は、ふるさとを愛する心の育成、多様な人との交流による人間性の育成を目的に進めております。

三つ目として、まえばしスクールサポート事業ということですが、市長をはじめ様々な方にご理解をいただいて、子どもと向き合う時間の確保を目的とした人員の配置をまとめたものになります。昨年度、教科指導講師、校務補助員を配置させていただきました。今年度も増員させていただきました。教科指導講師は小学校に配置をしておりますが、単独で授業が持てる非常勤講師で、主に理科や書写、図工、体育、家庭科などを担当しております。また、校務補助員はやや大きめの中学校に配置をしておりますが、教員でなくてもできる色々な作業、例えば印刷物作成や保健情報の入力、チラシの配付、配付物の回収チェックなどをお願いしています。どちらも学校から大変ありがたいと話をいただいております。ほかにも生徒指導であったり、学力向上であったりと人員を配置させていただいておりますが、事業名のとおり学校をサポートするという意味で非常に効果的になっております。

教 育 長

今説明させていただいたものは特に力を入れたいものだと思いますが、平成29年度の重点事業は八つありますので、どこからでも結構です。ご意見をいただければと思います。

奈 良 委 員

教員の多忙感が、今大きな問題となっていますが、先生方が子どもと向き合う時間がないことは私が現場にいた頃から感じていたところですので、このスクールサポート事業は充実させていただきたいと思えます。

今の児童生徒は昔と違い、大雑把に指導していくことが難しくなっ

いると思います。一人一人細やかに目を向けないと「個を伸ばす」というところに繋がらないと思います。市内のある中学校の先生に話を聞くと大分助かっているという話を聞きますし、他市の校長先生に話を聞くと前橋市の取り組みは羨ましいという話を聞きます。是非、この辺を充実させていただきたいと思います。

また、部活動の指導の負担感も解消していただけると良いと思います。指導できる人はたくさんいると思います。その人たちをどうやって活用していったら良いか、検討いただけるとありがたいと思います。

教 育 長 教員の多忙さについては、議会でも話題にさせていただいてありがたいと思いました。小学校教科指導講師や校務補助員などは、この総合教育会議の中で色々と検討させていただいてスタートしましたが、現場の声は事務局で把握をしていますか。

学校教育課長 校務補助員については、非常に助かっていると聞いており、是非全部の学校に配置をしてほしいという声もあります。なぜなら教員は空き時間がありません。放課後も保護者対応などに追われ、予定していたことができないためです。現在は中学校への配置ですが、小学校はもっと空き時間がないので、配置いただければありがたいというのが現場の声です。

教 育 長 以前村山委員から医療の現場にいるメディカルクラークの存在で大変助かっているという話がありましたが、この校務補助員については、とても効果が高いということで、今年度は6校に増えました。  
スクールサポート事業のほかにはいかがでしょうか。

吉 川 委 員 公民館の話の中で、学校と公民館の連携という話がありましたが、地域寺子屋事業では、公民館を有効に活用できていると思います。小学生のうちは公民館によく行ったと思いますが、中学校になるとなかなか忙しくて行く時間もなかった気がします。そんな中で学校が終わってから地域寺子屋事業に通うことで、大人たちが公民館をどうやって活用しているのか見ることもできますし、大人になってから利用したいと思うと思います。今後拡大していくというお話ですがいかがでしょうか。

指導担当次長 中学校単位で実施していますが、全地域で実施をしたいと考えております。

教 育 長 地域寺子屋事業は、学校から近く集まりやすいところから始めていますが、やはり平等性という観点から全地域での実施を目指しています。

- 指導担当次長 計画で言えば、平成32年度に全地域での実施を目指しております。課題としては学校の近くに公民館がない場合、会場をどこにしたら良いかという点になります。
- 教 育 長 できるだけ多くの中学生に機会を与えたいと思っています。貧困対策の意味もありますし、ここで地域の人と触れ合うことで地域行事に参加したときに「よく来たね」という話にもなると思います。
- 村 山 委 員 私は英語教育の充実について、伊勢崎市や高崎市が力を入れているという話を聞きますが、旧嶺小学校の跡地にある民間施設ですがイングリッシュビレッジが気になります。  
大学入試についてもコミュニケーション能力を重視する方向に変わります。教育は即効果が出ることはないかもしれないですし、お金の掛かる部分ではありますが、力を入れていただきたい部分です。また、旧嶺小学校は場所が場所だけに里山学校としても使える気がしています。例えば星空観察をしながら、英語で何て言うのかなという話ができれば良いのかなと思います。
- 教 育 長 今回、希望制ではありますが海外研修の事前研修で利用します。里山学校としても活用できそうですね。バス代等経費は掛かりますが。  
英語教育については、拠点校英語推進員を配置していますが、英語の教科化の本格実施が目前ですので、英語をどうするのかというのを考えていかなければならないと思います。  
英語村の職員が来て指導をしてくれるという話も以前ありましたが、行くだけではなくて、来てもらうというのも方法だと思います。
- 湯 澤 委 員 私も教員の多忙さが問題だと思いますので、まえばしスクールサポート事業を充実させていただきたいと思います。自分の小さい頃、周りにいた大人って誰だろうと振り返って考えると、自分の両親と学校の先生だったと思います。その先生方が子どもと関われる時間を作っていただきたいと思います。私も二人子どもがおりますが、帰って話すことは、学校の友達のことや先生がどうだとかいう話題が多いです。それだけ先生方は注目をされていると思いますので、できるだけ子どもと関われる時間を増やしていただきたいなと思います。  
将来を担う子どもに対しては、個人的には予算はいくらでも費やしても構わないと考えています。それが30年後、50年後に跳ね返ってくるので、優秀な人間を前橋市が輩出できることになるのではないかと思いますので、国の方針に合わせてやるのではなく、思い切って先手を打っていただきたい。私も小学校高学年から大学まで英語を勉強しましたが一言も話せないです。こういう教育ではダメだと思います。これから

国際的に活躍していく子どもたちを輩出するなら、せっかくオルヴィエート市もあるのでイタリア語も良いのではないかと考えています。

教 育 長 赤城山ろく里山学校が、大胡、宮城、粕川、富士見地区だけでしたが、拡大をされました。それが公民館の役割にも繋がっていきますので、里山学校という名前でスタートした事業ではありますが、総社、南橋、芳賀地区についても拡大をしているということでご了承をいただきたいと思っています。

市 長 教育委員会が学校現場を大切にしているということを本当にありがたいと思っています。学校現場を経験されている方が教育長になっていただいている、だからこそ痛みというものを分かっているんじゃないかと思っています。予算にも限りがありますが、その中で子どもたちを育てていけるような、自分で伸びていく子もいますが、障害等を抱えあるいは家庭のトラブルを抱えている子も伸ばしていければと思っています。公民館が地域社会と学校を結び付けてくれる、教科指導講師や校務補助員のお陰で先生の空き時間が確保できる、こういった取組は、本当にありがたいと思っています。学校の先生の授業準備が大変なことを私自身初めて知りましたし、こういった痛みが軽減できることが何より大切だなと思っています。

教育委員会のイニシアティブの下で我々行政も進めてまいりますので、お互い様の気持ちで進んでまいりたいと思います。

教 育 長 ありがとうございます。そういう市長さんのお陰で教育委員会の事業が進められているのだと思いました。本日は平成29年度事業の進捗状況を報告させていただきましたが、次回の総合教育会議では平成30年度の重点事業についてお話できればと思います。

教 育 次 長 それでは、議題1から3まで全ての議題が終了いたしました。最後に市長さんお話をお願いいたします。

市 長 教育長さんと4人の教育委員さんのお陰で、まさにレイマンコントロールとしての教育委員会が機能していると思います。本当にありがとうございました。

教 育 次 長 次回の予定につきましては、例年12月ごろに開催しているところですが、本日はいただきましたご意見を事務局において再度整理をいたしまして、後ほど日程等についてご相談させていただきます。具体的な議題、日程については、改めて事務局からご連絡を申し上げます。

以上で本日の会議事項は全て終了いたしました。これにて閉会いたし

ます。ありがとうございました。

(午後4時29分)